

## 4 公共交通の現況

### (1) 既往資料による現況把握

#### ① 鉄道

鉄道は、JR 北海道函館本線が乗り入れており、市内には美唄駅、峰延駅、光珠内駅、茶志内駅の4つの駅があり、美唄駅以外は無人駅となっています。

美唄駅に停車する特別急行列車が1日48便、小樽方面—旭川方面をつなぐ普通列車が1日32便となっています。

JR 美唄駅の1日当たりの乗降客数は、毎年2,700人前後で横ばいに推移しています。

表1 JRの運行状況(令和3年度)

運行主体	路線名	美唄市内停車駅	区間	運行便数(便/日)	所要時間
JR北海道	函館本線	美唄駅	旭川駅 - 札幌駅	上:22便	85分
				下:22便	
			網走駅 - 札幌駅	上:1便	321分
		下:2便			
		稚内駅 - 札幌駅	下:1便	310分	
		峰延駅 - 光珠内駅 - 美唄駅 - 茶志内駅	旭川駅 - 札幌駅	下:1便	173分
			滝川駅 - 小樽駅	上:1便	136分
				下:3便	
			滝川駅 - 手稲駅	上:1便	113分
			滝川駅 - 札幌駅	下:1便	96分
			旭川駅 - 手稲駅	上:1便	170分
			深川駅 - 岩見沢駅	上:1便	58分
			旭川駅 - 岩見沢駅	上:4便	97分
下:5便					
滝川駅 - 岩見沢駅	上:8便	39分			
	下:5便				
滝川駅 - ほしみ駅	下:1便	122分			

(資料:JR北海道)

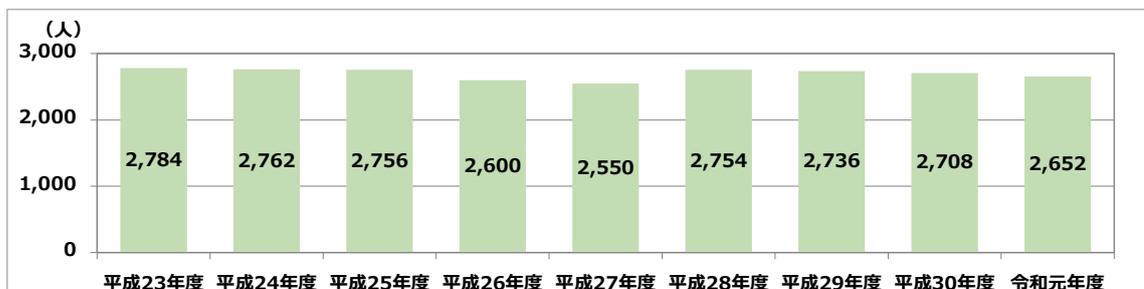


図20 美唄駅の1日当たり乗降客数の推移

(資料:国土数値情報)

## ②北海道中央バス

市町村間を連絡する幹線系統は、全て北海道中央バス株式会社によるバス路線で、滝岩線の滝川岩見沢美唄区間と美唄区間の1路線2区間となっています。

滝岩線のバス路線は、主に国道12号となっており、多数の停留所が設置されています。

便数は、岩見沢美唄線は(土日祝日便と平日便あわせて)1日9便、滝川美唄線は(土日祝日便と平日便あわせて)1日17便運行しております。利用者数は、岩見沢美唄線と滝川美唄線の合計で、平成27年度が187,599人に対して令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり95,232人と減少しています。

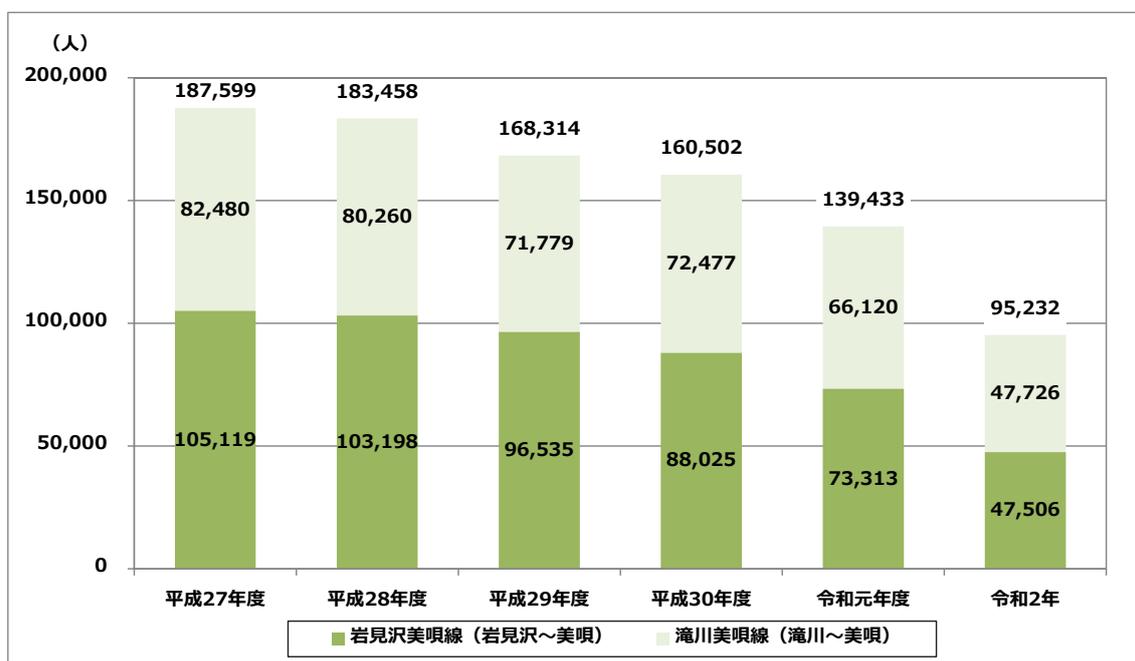


図 21 北海道中央バス株式会社滝岩線輸送人数の推移

(資料:北海道中央バス株式会社)

### ③市民バス東線・西線

市民バスは、市街地を運行する市民バス東線と郊外部を運行する西線(一部スクールバス)があります。

#### (ア)市民バス東線

市民バス東線は、循環形式の右回り左回りそれぞれ1日11便を運行しており、主な系統として「尚栄高校経由」、「総合体育館経由」、「いなほ経由」、「国道経由」、「ゆ〜りん館経由」、「アルテピアッツァ経由」の6系統があります。運行経路は、所要時間の短縮や、施設アクセスによる効率運行のために、個々の便で経由する停留所がその都度変わる状況となっております。なお、一周の所要時間は、29分から58分となっております。

年間輸送人数は、平成27年度が72,074人に対し、令和2年度は55,811人と5年で22.5%程度減少しています。月別の利用状況では夏期(7~9月)は4,200人程度、冬期では12月が1年で最も利用人数が多く5,789人、1~2月も含めると5千人を超えています。

曜日別では、月曜から金曜が平均232人/日に対し、土曜と日曜が平均145人/日となっております。

時間帯別の利用者数では、午前7時~9時に集中的に利用されており、平日の1日当たりの平均利用者数は10人を上回っている状況です。

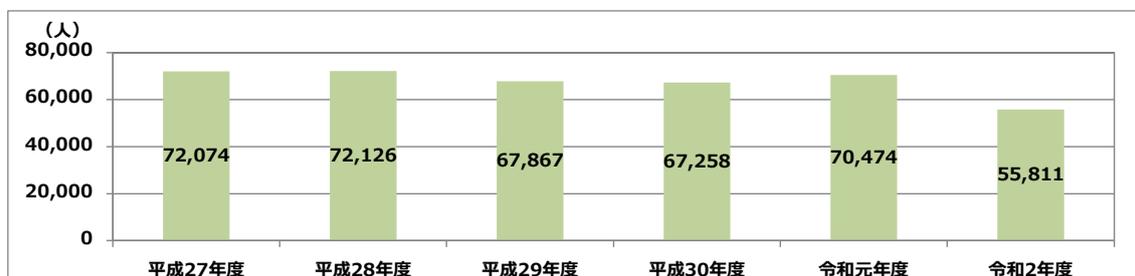


図 22 市民バス東線年間輸送人数の推移

(資料:美唄市)

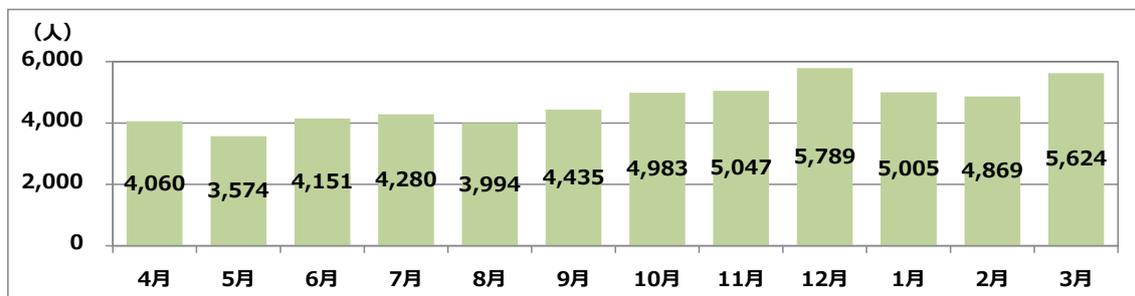


図 23 市民バス東線月別輸送人数の推移(令和2年度)

(資料:美唄市)

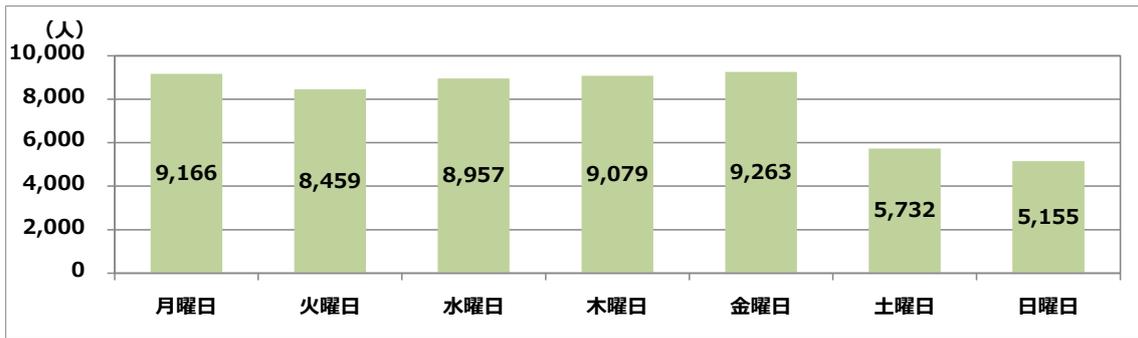


図 24 市民バス東線曜日別輸送人数の推移(令和 2 年度)

(資料:美唄市)

表 2 市民バス東線の時間帯別日利用者数(令和 2 年度)

	美唄駅 発時間	利用者/日数		
		平日	休日	
東 明 通 り 先 回 り	1便	6:30	1.7	1.3
	2便	7:15	16.0	4.7
	3便	8:25	14.3	7.1
	4便	9:34	10.1	7.4
	5便	10:45	6.2	6.6
	6便	11:55	8.7	6.0
	7便	13:25	7.0	6.5
	8便	14:35	6.0	5.4
	9便	15:45	8.2	4.3
	10便	17:05	14.7	4.7
	11便	18:20	1.3	1.1
旭 通 り 先 回 り	1便	6:35	2.9	1.7
	2便	7:30	11.7	2.4
	3便	8:35	11.0	4.4
	4便	9:35	12.2	10.8
	5便	10:40	8.2	5.1
	6便	11:45	10.7	7.6
	7便	13:30	5.7	4.9
	8便	14:50	6.2	4.1
	9便	16:00	6.9	3.5
	10便	17:30	5.8	3.5
	11便	19:10	1.9	1.8

(資料:美唄市)

## (イ)市民バス西線

市民バス西線は、郊外部をスクールバス(一般利用含む)として以下に示す 11 路線を運行しており、便数(往復)は、1 日 3 便程度を運行しています。

- ①茶志内線 ②日東線 ③元村・親和線 ④北沼の内・開発線  
 ⑤西美唄・大富線 ⑥上美唄・開発線 ⑦進徳・拓北線 ⑧峰延線 2  
 ⑨峰延線 3 ⑩峰延線 4 ⑪山形・沼の内線

市民バス西線の年間輸送人数は、平成 27 年度が 4,389 人に対し、令和 2 年度が 2,711 人と 5 年で 38.2%程度減少していますが、直近 2 か年は 2,800 人前後で推移しています。また、輸送人数の 73.5%は進徳・拓北線となっております。

月別では 4 月、5 月、8 月に利用者数が減少するものの、年間を通して 250 人台となっております。

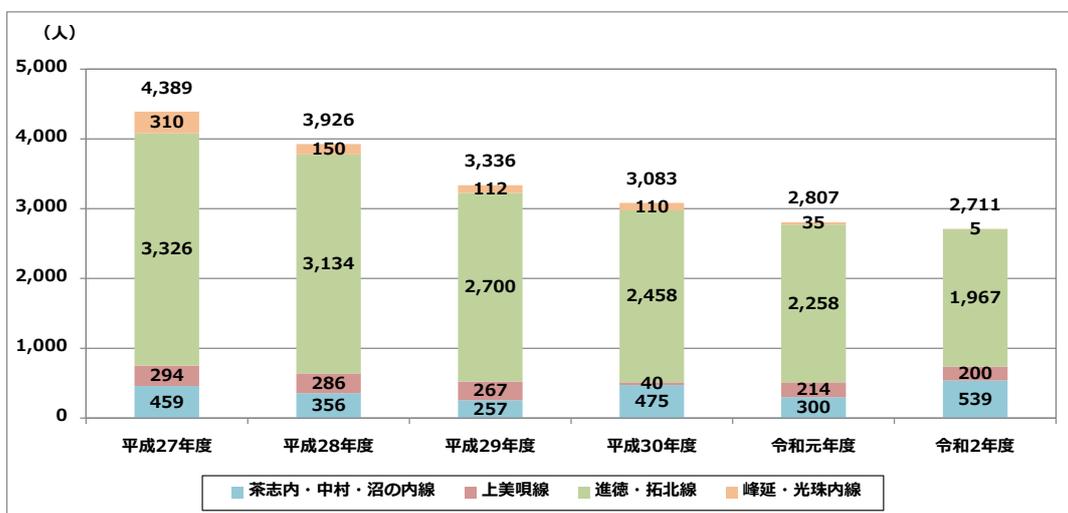


図 25 市民バス西線年間輸送人数の推移

(資料:美唄市)

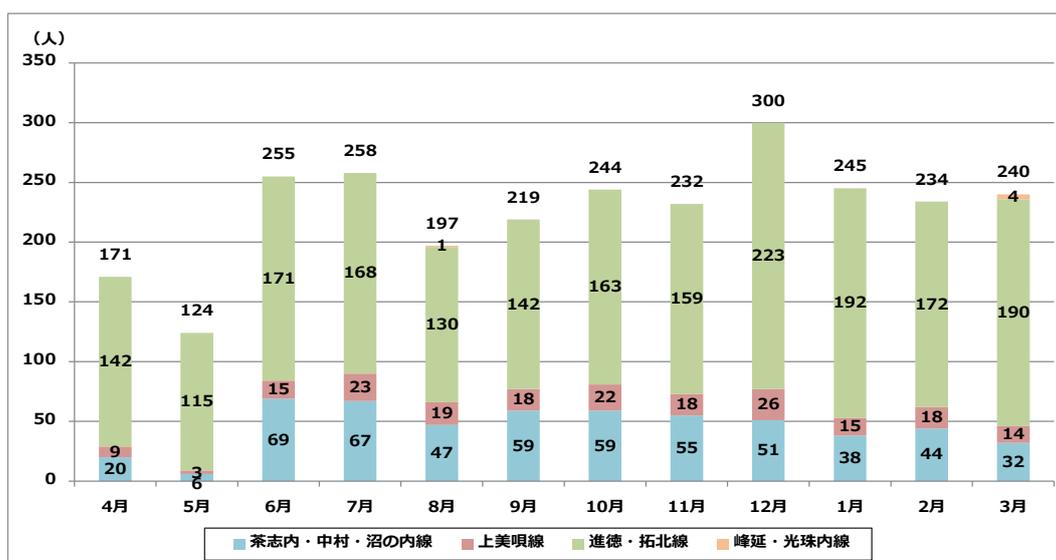


図 26 市民バス西線月別輸送人数の推移(令和 2 年度)

(資料:美唄市)

スクールバスの運転手は 60 名となっており、50 代・60 代を中心に構成されています。また、所属している全員が大型二種免許又は有償運送運転者講習を受講済みであり、運転手の不足や高齢化が進む中で、有償運送の運転手としての活躍が期待されます。

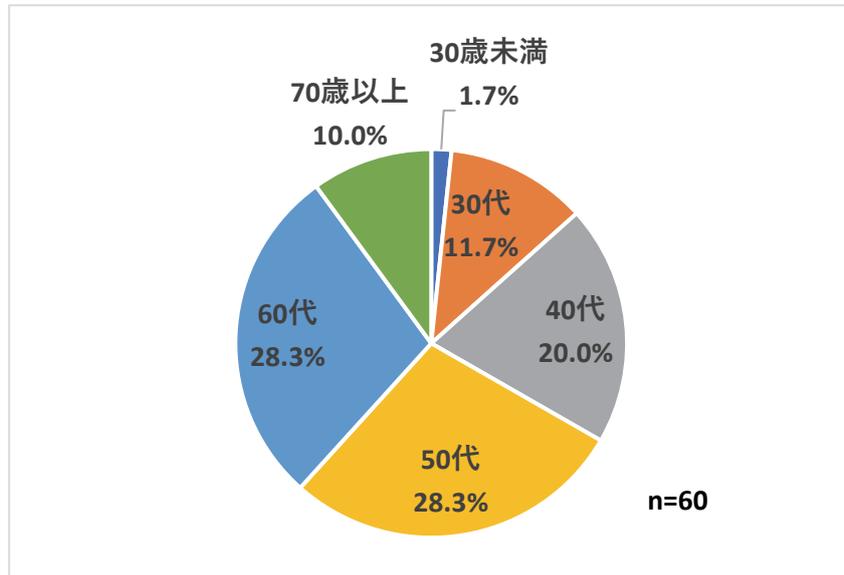


図 27 スクールバス運転手の年齢構成(令和 2 年度)

(資料:株式会社美唄自動車学校)

#### ④南美唄線

南美唄線は、株式会社美唄自動車学校により概ね美唄駅と南美唄6丁目を起終点とした官舎経由、国道経由、労災経由及び労災・生協経由の4系統を運行しています。便数は片道15便を運行しています。最も多く運行しているのは労災生協経由です。

南美唄線の年間利用者数は、平成27年度が57,465人に対し、令和2年度は43,484人と5年間で24.3%程度減少しています。

月別では夏期(7~9月)が3,300人程度、冬期では12月、3月に利用者が増加しています。

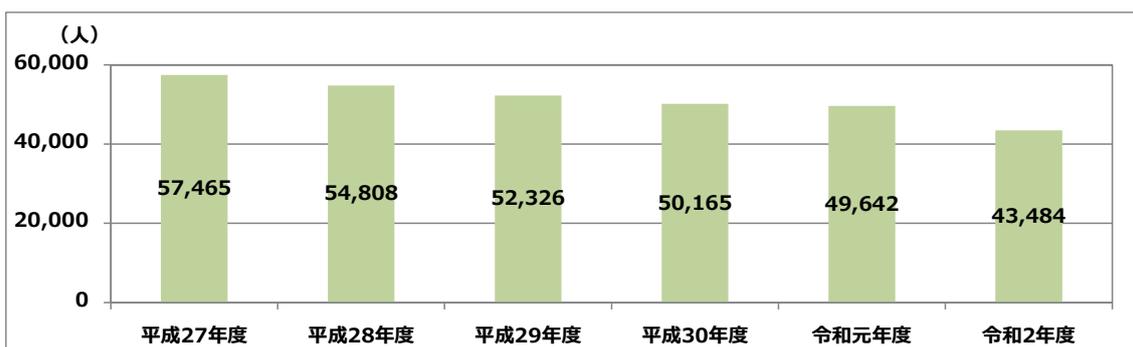


図 28 南美唄線等年間輸送人数の推移

(資料:株式会社美唄自動車学校)

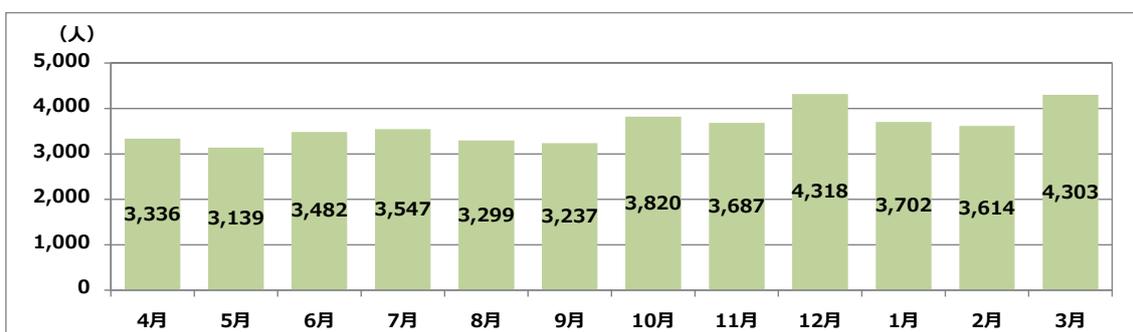


図 29 南美唄線等月別輸送人数の推移(令和2年度)

(資料:株式会社美唄自動車学校)

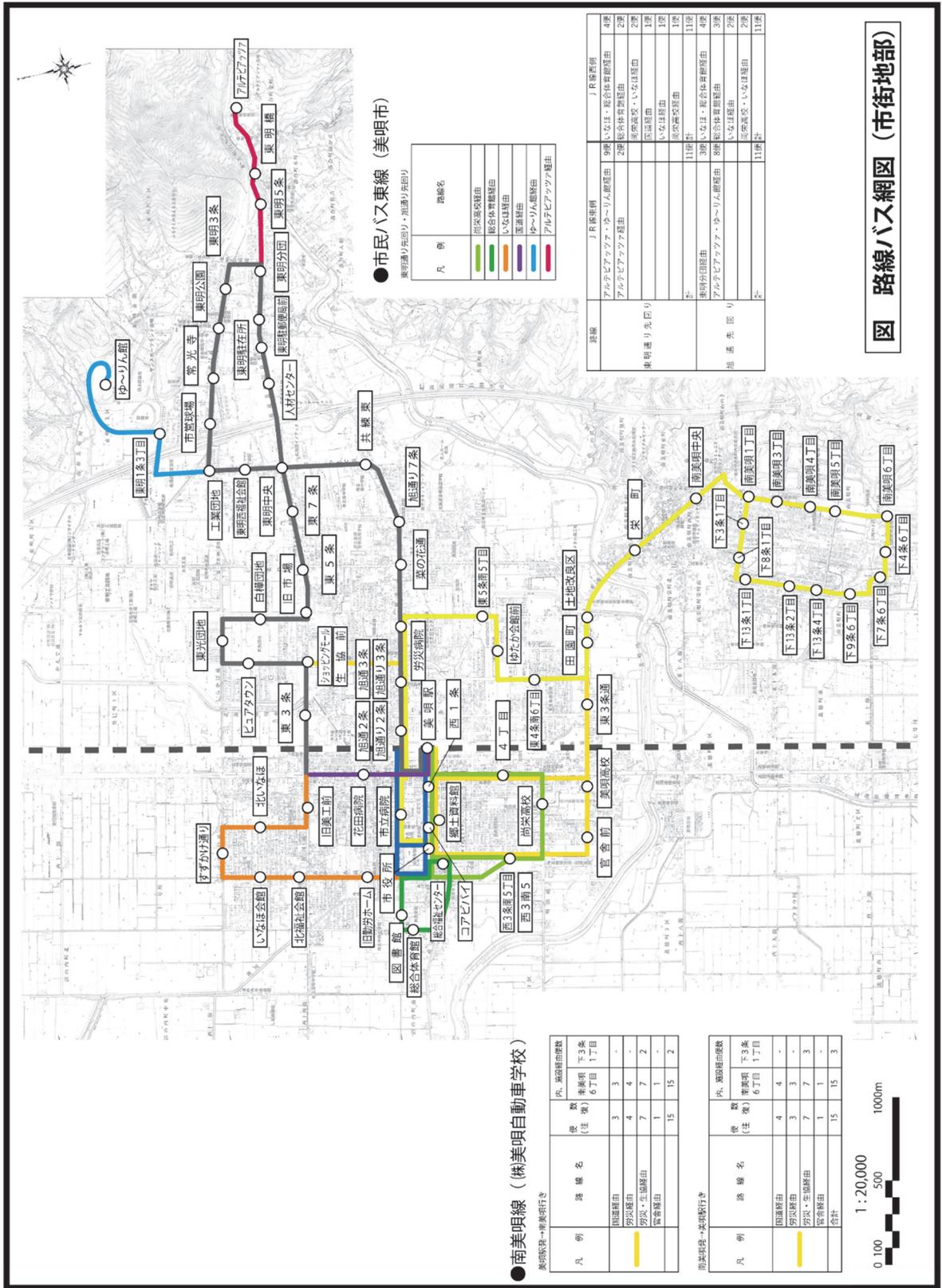


図 30 路線バス網図(市街地部)

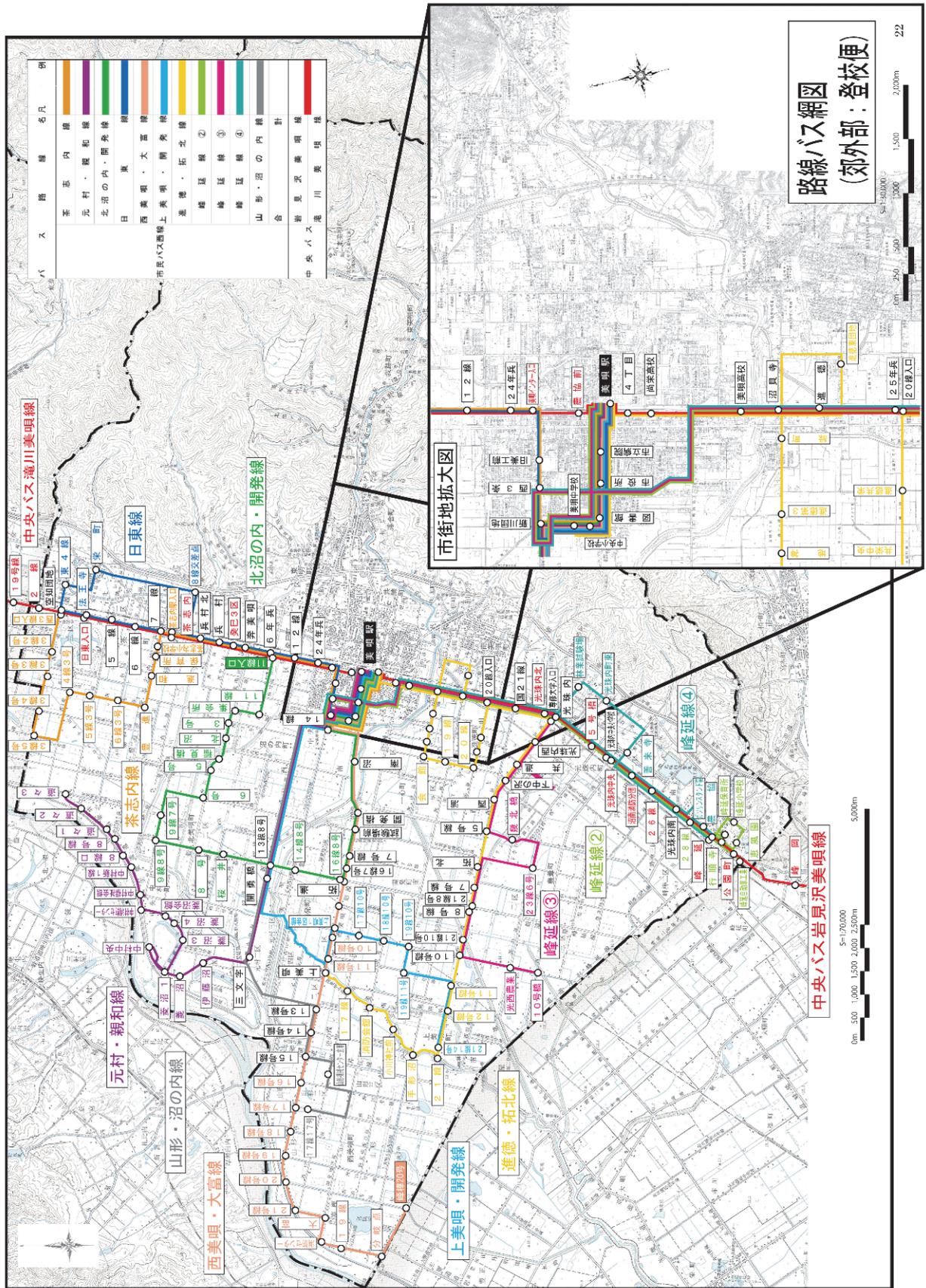


図 31 路線バス網図(郊外部:登校便)

## ⑤タクシー・ハイヤー事業

### (ア)乗合タクシー運行状況

乗合タクシーは、市民バス東線の経路の短縮及び市民バス西線の減便に伴い、利用登録による完全予約制で平成 23 年度から運行を開始しています。

運行主体は、市内のタクシー事業者である昭和ハイヤー株式会社、美唄交通株式会社及び株式会社ビジコーとなっており、盤の沢・我路方面、日東・茶志内方面、西美唄・開発方面、中村・沼の内方面の 4 方面について、高齢者など交通弱者の生活交通に配慮し、利用者自宅と中心部等の主要な公共・公益施設(連絡施設)間を輸送しています。

運行便数は、盤の沢・我路方面が 1 日 4 往復(日曜祝日運休)、その他の方面が 1 日 3 往復(週 2 日)を運行しています。

乗合タクシーの年間輸送人数は、年々減少傾向にあり、令和 2 年度で 2,483 人となっています。その方面別内訳では日東・茶志内方面が約 32.3%(803 人)と最も多く、次いで西美唄・開発方面が約 26.6%(662 人)、盤の沢・我路方面が約 23.0%(572 人)、中村・沼の内方面が約 17.9%(446 人)となっています。

月別では 4 月、11 月、1 月、2 月が減少するものの、年間を通して 200 人台となっています。

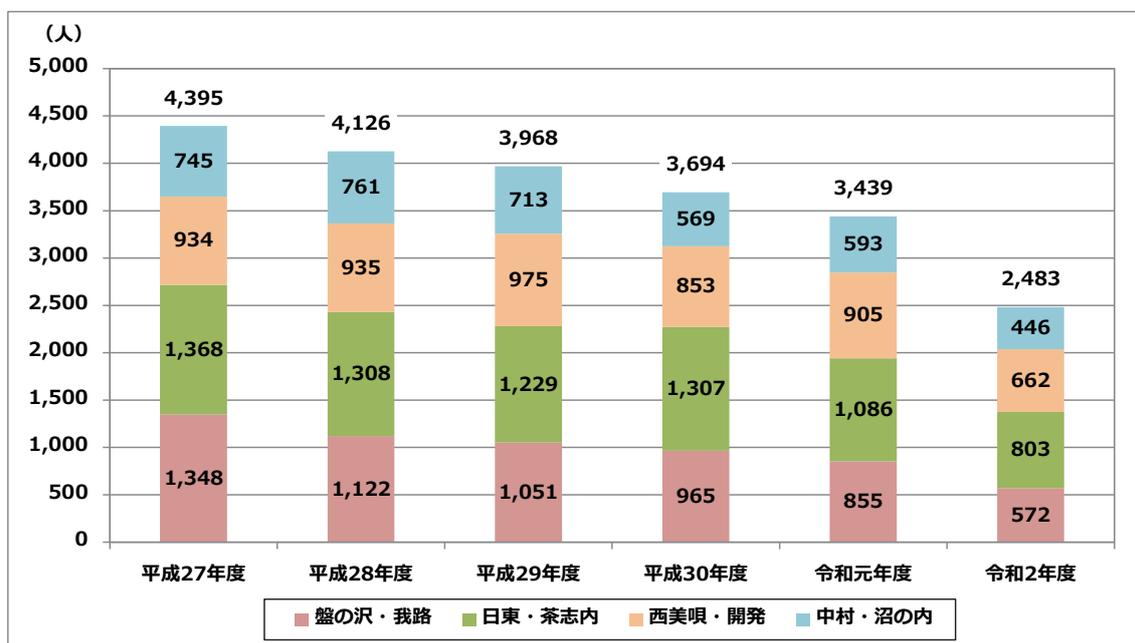


図 32 乗合タクシー年間輸送人数の推移

(資料:美唄市)

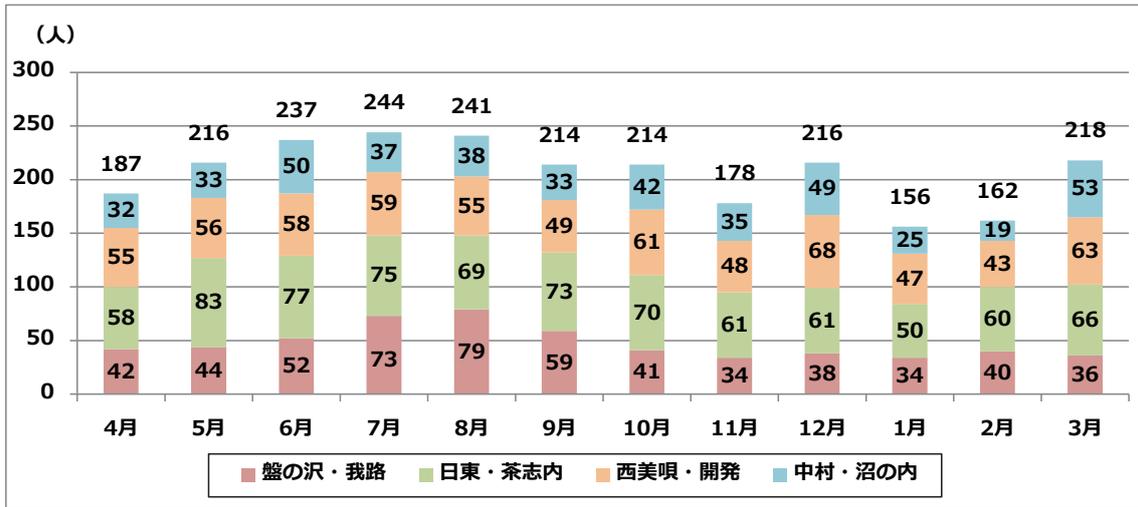


図 33 乗合タクシー月別輸送人数の推移(令和 2 年度)

(資料:美唄市)

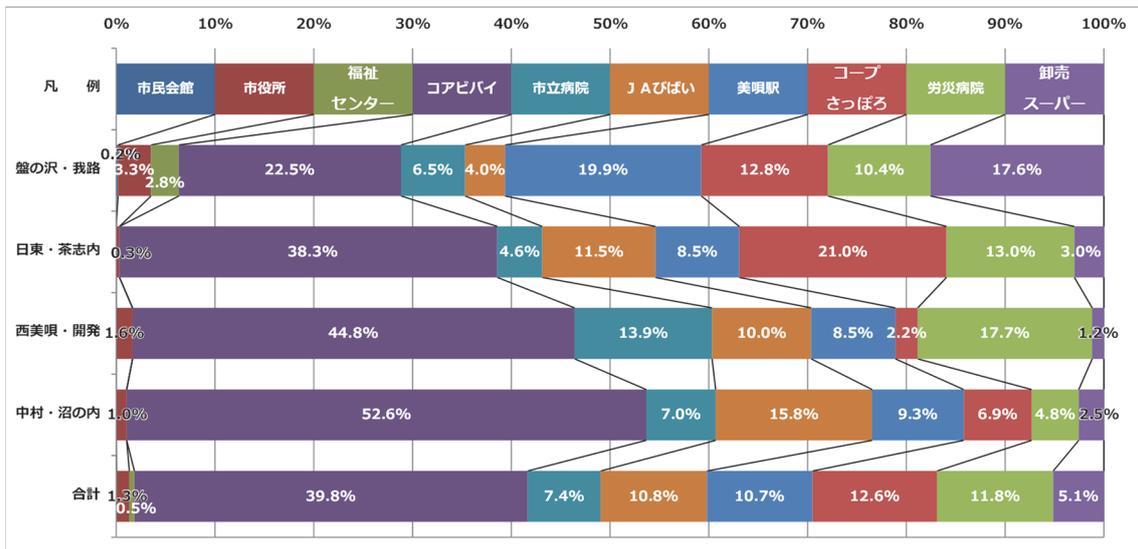


図 34 乗合タクシー連絡施設の利用状況

(資料:美唄市)

表 3 連絡施設

西側連絡施設	①市民会館 ②市役所 ③総合福祉センター ④コアビバイ ⑤市立病院 ⑥JAびばい
美唄駅	⑦美唄駅
東側連絡施設	⑧コープさっぽろ ⑨せき損センター ⑩卸売りスーパー ⑪旧まるびし前※ ⑫東明郵便局前※

※盤の沢・我路方面のみ連絡可

(イ)乗用タクシー事業者の現状

保有している車両台数は各社合わせると 36 台であり、このうち 1 台は大型の福祉車両です。各事業者の運転手の年齢別構成を統合すると約 5 割が 70 代となっており、運転手の高齢化が進行しており、将来的な人手不足が懸念されます。

表 4 乗用タクシー事業者の車両保有数・運転者数

事業者	概要
昭和ハイヤー株式会社	【車両台数】小型車:13 台 大型車(福祉車両):1 台 【運転者数】18 名
美唄交通株式会社	【車両台数】小型車:8 台 【運転者数】7 名
株式会社ビジコー	【車両台数】普通車:14 台 【運転者数】19 名

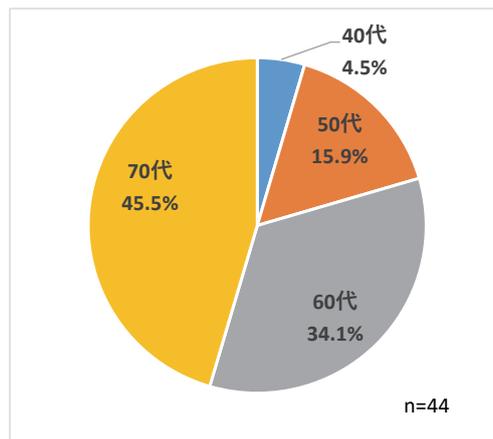


図 35 乗用タクシーの運転者数 (資料:各事業者提供)

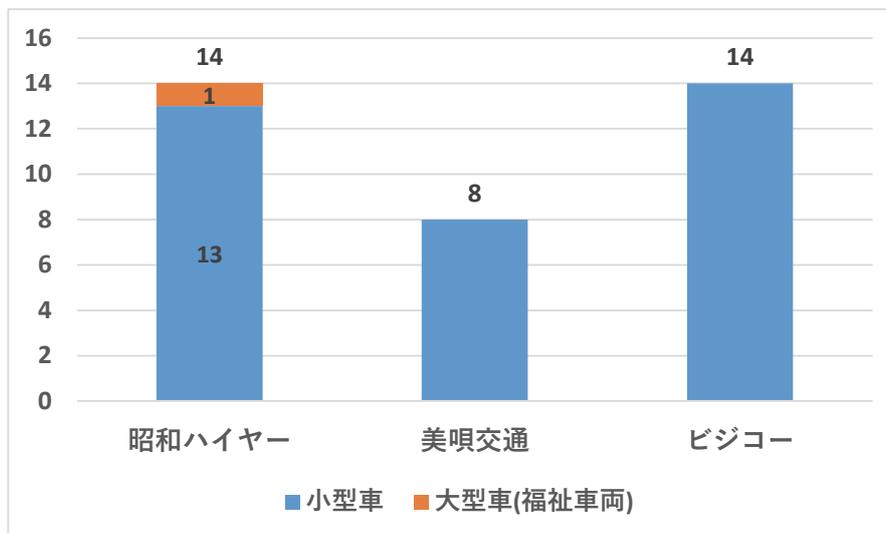


図 36 タクシー会社各社の車両登録台数 (資料:各事業者提供)

## ⑥運行費用・収益

地域間幹線系統である滝岩線は、経常費用 68,001 千円に対し、経常収益が 46.2%にあたる 31,432 千円、国・道補助金が 45.2%にあたる 30,755 千円、その他、市町村負担金が 15.2%にあたる 10,352 千円となっています。

市民バス東線は地域内フィーダー系統に位置づけられており、経常費用 31,796 千円に対し経常収益が 34.2%にあたる 10,886 千円、国・道補助金が 26.6%にあたる 8,478 千円、美唄市負担金が 39.0%にあたる 12,432 千円となっています。一方、市民バス西線は、経常費用 69,516 千円に対し、経常収益が 1.0%にあたる 553 千円と少額となっているものの、95.9%にあたる 66,650 千円が普通交付税により予算措置されています。

市内民間路線として南美唄線は、経常費用 14,474 千円に対し、経常収益が 32.6%にあたる 4,728 千円、美唄市補助金が 26.9%にあたる 3,907 千円となっています。

地域内フィーダー系統である乗合タクシーは、4 方面合計で経常費用が 5,260 千円に対し、経常収益が 17.3%にあたる 915 千円、国・道補助金が 10.9%にあたる 577 千円、市町村補助金が 71.6%にあたる 3,768 千円となっています。

以上、美唄市内の路線バス等公共交通に関する収支は、経常費用 189,047 千円に対し、経常収益が 25.6%にあたる 48,514 千円、国・道補助金が 56.3%にあたる 106,460 千円、市町村補助金が 17.3%にあたる 32,772 千円及び事業者負担金が 1.0%にあたる 1,301 千円となっています。市民バス及び市内民間路線の効率運行とコスト削減の検討が必要です。

### 【地域間幹線系統】

「複数の市町村にまたがる系統であること」、「平日 1 日当たりの平均運行回数が 3 回以上であること」、「乗車人数が 1 日あたり 15 人～150 人と見込まれること」及び「経常赤字が見込まれること」など一定の要件を満たすバス路線などをいいます。

### 【地域内フィーダー系統】

バスの停留所、鉄軌道駅、海港及び空港において、地域間交通ネットワークと接続する系統をいいます。

なお、接続とは、バス停留所相互及びバス停留所と駅、海港及び空港との近接・共有、乗り継ぎに適したダイヤの設定、乗り継ぎ割引の設定など、乗り継ぎ円滑化のためのいずれかの措置が講じられていることをいいます。

フィーダー(Feeder)とは、鉄道の支線という意味です。

表5 路線バス等の収支

単位：千円

区分	路線名	支出 経常費用	収入					収入計
			経常収益	国・道補助金額	市町補助金額	内、美唄市金額	事業者負担金	
地域間幹線系統 (北海道中央バス)	滝岩線 岩見沢～美唄	36,448 (1.00)	16,287 (0.45)	16,402 (0.45)	6,109 (0.17)	3,170 (0.09)	-2,350 -(0.06)	36,448 (1.00)
	滝岩線 滝川～美唄	31,553 (1.00)	15,145 (0.48)	14,353 (0.45)	4,243 (0.13)	1,239 (0.04)	-2,188 -(0.07)	31,553 (1.00)
	●小計	68,001 (1.00)	31,432 (0.46)	30,755 (0.45)	10,352 (0.15)	4,409 (0.06)	-4,538 -(0.07)	68,001 (1.00)
市町村運営有償 運送路線 (美唄市)	市民バス東線	31,796 (1.00)	10,886 (0.34)	8,478 (0.27)	12,432 (0.39)	12,432 (0.39)	0 (0.00)	31,796 (1.00)
	市民バス西線11路線	69,516 (1.00)	553 (0.01)	66,650 (0.96)	2,313 (0.03)	2,313 (0.03)	0 (0.00)	69,516 (1.00)
	●小計	101,312 (1.00)	11,439 (0.11)	75,128 (0.74)	14,745 (0.15)	14,745 (0.15)	0 (0.00)	101,312 (1.00)
市内民間路線 (市内交通事業者)	南美唄線 (美唄自動車学校)	14,474 (1.00)	4,728 (0.33)	0 (0.00)	3,907 (0.27)	3,907 (0.27)	5,839 (0.40)	14,474 (1.00)
	盤の沢・我路方面 (タクシー事業者)	1,459 (1.00)	153 (0.10)	126 (0.09)	1,180 (0.81)	1,180 (0.81)	0 (0.00)	1,459 (1.00)
	日東・茶志内方面 (タクシー事業者)	1,273 (1.00)	334 (0.26)	174 (0.14)	765 (0.60)	765 (0.60)	0 (0.00)	1,273 (1.00)
	西美唄・開発方面 (タクシー事業者)	1,661 (1.00)	299 (0.18)	221 (0.13)	1,141 (0.69)	1,141 (0.69)	0 (0.00)	1,661 (1.00)
	中村・沼の内方面 (タクシー事業者)	867 (1.00)	129 (0.15)	56 (0.06)	682 (0.79)	682 (0.79)	0 (0.00)	867 (1.00)
	○乗合タクシー計	5,260 (1.00)	915 (0.17)	577 (0.11)	3,768 (0.72)	3,768 (0.72)	0 (0.00)	5,260 (1.00)
	●小計	19,734 (1.00)	5,643 (0.29)	577 (0.03)	7,675 (0.39)	7,675 (0.39)	5,839 (0.30)	19,734 (1.00)
■合計		189,047 (1.00)	48,514 (0.26)	106,460 (0.56)	32,772 (0.17)	26,829 (0.14)	1,301 (0.01)	189,047 (1.00)

66,650千円は普通交付税額

(資料：美唄市、北海道中央バス株式会社、株式会社美唄自動車学校：令和元年度)

## ⑦その他送迎交通

その他送迎交通としては、「コアビバイ」及び「ゆ〜りん館」において無料送迎バスが運行しています。

コアビバイが運行する送迎バスは、毎週土曜日の運行となっています。「いなほ方面」と「進徳方面」の2路線を1往復しており、「いなほ方面」においては、市民バス東線と一部重複する区間があります。なお、当送迎バスを5回利用すると市民バス、あるいは、南美線回数券一枚を贈呈するサービスを行っており、路線バス利用促進に貢献しています。利用者数は年々減少しており、令和2年には3,000人を下回っており、特に進徳方面の利用者が減少しています。

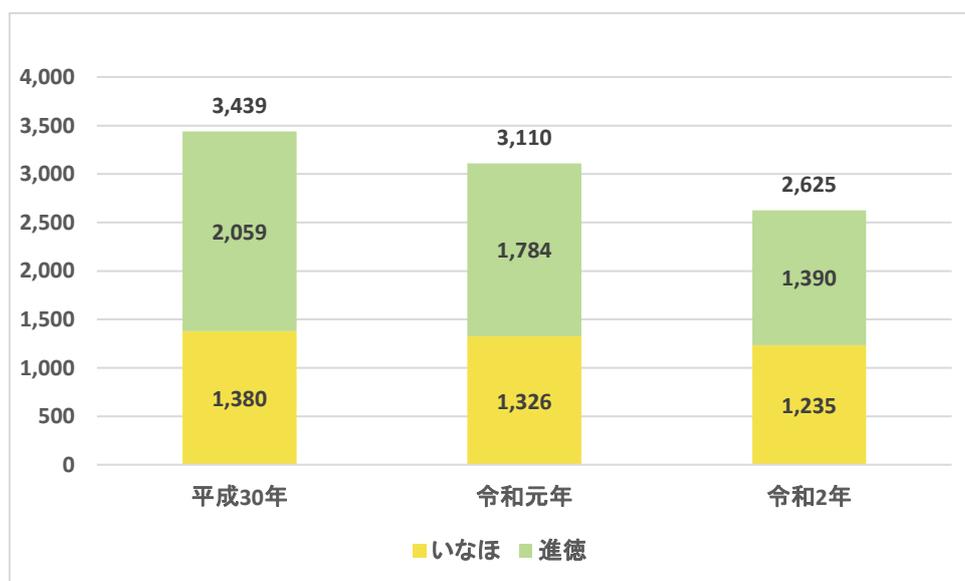


図 37 コアビバイ無料送迎バス輸送人数の推移

(資料:コアビバイ)

表 6 コアビバイ無料シャトルバス(まちなか元気バス)時刻表

<いなほ方面:到着便>		<進徳方面:到着便>	
乗り場	第1便	乗り場	第1便
西3条北5/6丁目	9:40	進徳東団地東側通り	10:00
西2条北6/7丁目	9:42	進徳東団地	10:01
西3条北7丁目	9:43	伊藤工務店付近	10:02
西4条北7丁目	9:44	進徳集会所	10:05
西4条北6/7丁目	9:47	進徳団地東通り(12号線)	10:06
旧Aコープ稲穂店	9:48	西2条南6/7丁目	10:08
メロディー歯科	9:50	西3条南6丁目	10:09
コアビバイ	9:50	西3条南5丁目	10:10
		コアビバイ	10:12
<いなほ方面:帰宅便>		<進徳方面:到着便>	
降り場	第1便	降り場	第1便
コアビバイ	10:30	コアビバイ	11:00
メロディー歯科	10:32	西3条南5丁目	11:02
旧Aコープ稲穂店	10:33	西3条南6丁目	11:03
西4条北6/7丁目	10:34	西2条南6/7丁目	11:04
西4条北7丁目	10:35	進徳団地東通り(12号線)	11:06
西3条北7丁目	10:36	進徳集会所	11:07
西2条北6/7丁目	10:38	伊藤工務店付近	11:10
西3条北5/6丁目	10:40	進徳東団地	11:11
		進徳東団地東側通り	11:12

(資料:コアビバイ)

ゆ〜りん館が運行する送迎バスは、一週間に火曜、水曜、木曜の3日、1日1往復を運行しております。運行路線は、火曜が美唄市中心部を運行する市内線、水曜が砂川奈井江線及び木曜が南美唄及び進徳を經由する市内線となっており、火曜と木曜において市民バス東線及び南美唄線のバス路線と重複する区間があります。利用者は年々減少傾向にあり、令和2年には6,000人を下回っています。

その他、コアビバイを除き平成27年4月から、運行費用の高騰により運行本数の減便を行っている状況です。このため、市民バス東線や乗合タクシーとの連携など運行の合理化が可能かを検討していく必要があります。

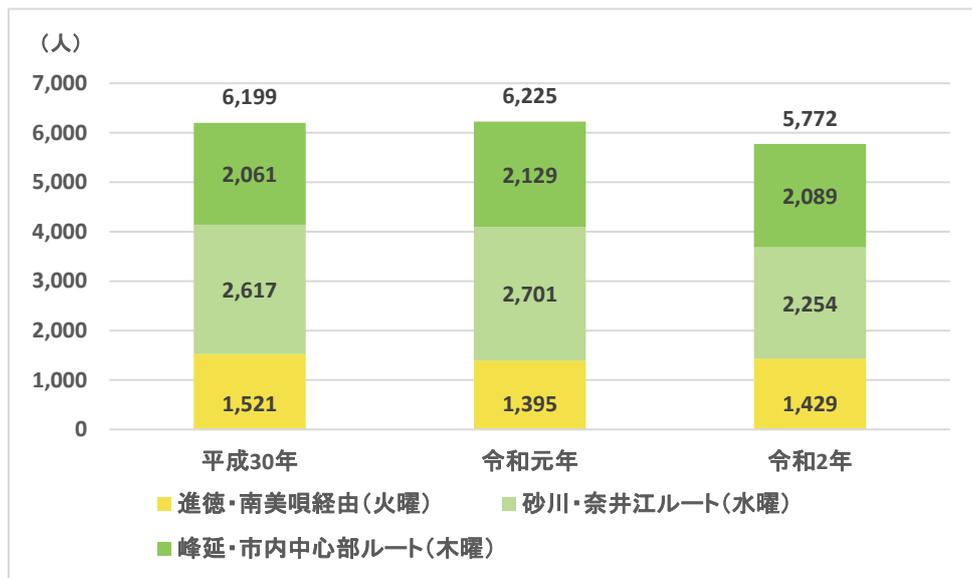


図 38 ゆ〜りん館無料送迎バス輸送人数の推移

(資料:ゆ〜りん館)

表 7 ゆ〜りん館送迎バス時刻表

美唄市内ルート(進徳発 南美唄経由):火曜日		美唄市内ルート(峰延発 市内中心部):木曜日		砂川・奈井江ルート(砂川出発):水曜日	
進徳集会所	9:55	峰延福祉会館	9:35	コープさっぽろ砂川店	9:57
進徳東団地	10:00	沼南地区コミュニティ消防センター	9:40	J R砂川駅	10:00
土屋電機	10:03	光珠内バス停 (J R光珠内駅側)	9:44	ショッピングプラザアイアイ	10:03
広島組	10:05	光珠内北バス停	9:46	スーパーチェーンふじ	10:06
美唄駐屯地	10:07	セブンイレブン大通南店	9:52	奈井江町道の駅	10:16
南美唄郵便局	10:10	美唄尚栄高校	9:55	北町コミュニティ会館	10:18
瀧川商店	10:13	ピバオイの里プラザ	9:58	町立国保病院	10:19
理容のかなさし	10:16	洗濯曜日(コインランドリー)	9:59	J R奈井江駅	10:22
東5南5バス停	10:20	コアびばいバス停	10:02	桜町団地	10:26
美唄中央保育園	10:22	昭和公園	10:05	日東入口国道12号線	10:32
美唄聖華高校	10:23	北福祉会館	10:07	砂場新聞販売所	10:35
(株)環商事	10:27	メロディー歯科	10:10	プラナス動物病院	10:45
東明郵便局	10:29	Aコープ美唄店	10:15	(株)環商事	10:47
東明消防団	10:31	J R美唄駅西口	10:20	ゆ〜りん館(着)	10:52
栄町コミュニティセンター	10:34	小林工務店	10:23		
東明生活館	10:38	セイコーマート共練店	10:25		
市営球場バス停	10:40	東4条福祉会館	10:28		
ゆ〜りん館(着)	10:43	ツルハドラッグ美唄店	10:33		
		プラナス動物病院※向い側	10:35		
		(株)環商事	10:37		
		ゆ〜りん館(着)	10:42		

(資料:ゆ〜りん館)



## (2) 市民アンケート結果に基づく公共交通の実態把握

### ① 調査概要

#### 1) 調査の目的

令和 3 年度に美唄市地域公共交通計画を策定するにあたり、令和 2 年度に公共交通ニーズを把握するなど地域公共交通課題をとりまとめるための基礎資料を整理することを目的として、市民を対象とした公共交通アンケートを実施しました。

#### 2) アンケート調査項目

アンケート調査は以下の質問の概要に示すとおりです。

項目	質問の概要
個人属性	・性別、年齢、職業、お住まい、家族人数
運転の状況と公共交通サービス水準など	・運転免許と自家用車の保有状況、現在と今後の運転、公共交通サービス水準、免許証返納特典
普段の外出	・時間帯、目的、行き先、交通手段
公共交通サービス要望など	・公共施設等到着時間と到着要望時間、公共交通利用予定と公共交通手段、自動車を利用しない場合の公共交通内容、乗合タクシー利用要望
その他	・公共交通についての要望

#### 3) 調査方法

アンケート調査票は、郵送にて配付・回収しました。

#### 4) 配付・回収スケジュール

調査表は、以下のとおりに配付、回収しました。

配付日	回収期日
令和 2 年 11 月 21 日(土)	同年 12 月 7 日(月)

#### 5) 配付数・回収数

配付は、15 歳以上の市民から 1,200 人を抽出して行いました。抽出方法は、年齢階層ごとに均等、かつ概ね行政区別の人口比率により設定しました。

回収数は 403 件で、回収率は 33.6%となりました。

## ②調査結果の概要

### 【あなたご自身のことについて】

#### 1) 性別

・「男」が4割強、「女」が6割弱である

#### 2) 年齢

・「70代」が最も多い

#### 3) 職業

・「無職」が最も多い

#### 4) お住まいの地区

・美唄市すべての行政区において回収された

・「条丁目東南部」が最も多く、続いて「条丁目東北部」、「条丁目西北部」の順

・市街地は「条丁目東南部」、郊外部は「進徳町」が最も多い

#### 5) 家族人数

・家族人数は「1人」が最も多い

#### 6) 自動車運転免許証、自動車の有無

・「免許証も自動車も持っている」が7割弱と最も多い

・自動車運転免許証の所有経験がある方が308人、うち18人が返納済み

#### 7)－1 運転テクニックの自信

・「自信がある」が6割弱を占めている

#### 7)－2 運転が困難になった場合の移動手段

・「徒歩、自転車」が最も多く、続いて「タクシーを利用する」、「路線バスを利用する」の順

・全体の半数以上が、将来運転が困難になった場合に公共交通の利用を考えている

#### 7)－3 何歳まで運転を続けたいか

・「〇歳ごろまで運転したい」が4割強と最も多い

・「〇歳ごろまで運転したい」の年齢は「80歳以上」が4割強と最も多い

#### 8) 移動を公共交通に頼る場合の自由度

・「自家用車の利便性と同じくらい、公共交通を使って自由に行きたいところに行ける生活を送りたい」が4割強と最も多い

・車を手放した後も、車と同水準のサービスレベルを公共交通に求めている状況である

#### 9) 免許証の返納について

・特典があれば「返納しやすくなる」が4割弱と最も多い

### 【あなたの普段の外出について】

#### 10)－1 主な外出の時間

・主な外出の時間は「7時」が最も多い

・主な帰宅の時間は「18時」最も多い

・最も多い外出時間、帰宅時間の外出目的は「通勤」が最も多い

10)－2 外出の目的

- ・平日は「通勤」が最も多く、続いて「買い物」、「その他の私用」の順
- ・休日は「買い物」が最も多く、続いて「通勤」、「その他の私用」の順

10)－3 最も遠い行き先

- ・平日は「条丁目西南部」、「条丁目西北部」、「丁目東北部」、「条丁目東南部」の市街地間の移動が多い。特に「条丁目東北部」を中心とした動きが目立つ
- ・休日は、平日と同様の傾向であり、平日より交通量は少ない
- ・市外との移動状況は、平日、休日共に「滝川砂川方面」との結びつきが強い

10)－4 主な交通手段

- ・平日、休日共に「自動車」が7割前後で最も多く、続いて「徒歩」、「自転車、バイク」の順
- ・平日、休日を合わせた公共交通は「市民バス東線」が最も多い

11) 公共交通を利用し施設へ出掛けたか

- ・各施設に「着いた時刻」と「着きたい時刻」及び双方の回答が異なる時刻を整理した
- ・結果、ゆ〜りん館、アルテピアッツァびばい、JA美唄、コープさっぽろ美唄店などにおいて、1～3件程度の異なる時刻があった

12) 今後、公共交通を利用するか

- ・「10年以内には利用しない」が4割弱と最も多い

13) 最も利用する公共交通

- ・「JR」が3割弱と最も多く、続いて「タクシー」、「市民バス東線」の順

14) どの公共交通を利用したいか

- ・「タクシー」が5割弱と最も多く、続いて「コミュニティバス」、「乗合タクシー」の順

15)－1 乗合タクシーの利用状況

- ・「利用する予定はない」が4割強と最も多く、続いて「今後利用したいと思っている」の順
- ・「今後利用したいと思っている」の現在の交通手段は「自動車」が6割強を占めている

15)－2 乗合タクシーを利用したい頻度

- ・「週2～3回利用したい」が3割強と最も多く、続いて「月に数回利用したい」の順

15)－3 利用したい曜日

- ・「火曜日」、「水曜日」、「金曜日」が最も多い

### ③アンケート結果における課題

#### 【課題1 引き続き高齢化に対応した公共交通の確保・維持】

- ・年齢が高くなるにつれて、単身世帯の比率が増加
- ・年齢が高くなるにつれて、免許証及び自家用車を保有している比率が減少。
- ・50代以上において公共交通手段を利用する回答が7割前後
- ・市街地内の移動、郊外部と市街地間の移動及び滝川・砂川方面の移動に対応した公共交通の確保
- ・「5年以内、10年以内に公共交通を利用する」は「60代」以上が多い

#### 【課題2 タクシー・ハイヤーについて公共交通体系への組み込みを検討】

- ・年齢が進むにつれて、現在と同様、あるいは現在より高いサービス水準が求められている
  - ・「60代」以上において「ハイヤー・タクシー」を利用したい方が多い
  - ・市街地では「ハイヤー・タクシー」が多く、郊外部では「乗合タクシー」が多い
- ※タクシー事業者の運転手不足から乗合タクシーは取りやめ、定額タクシーへの転換可能性について検討することが考えられる

#### 【課題3 乗合タクシー等の運行拡大検討】

- ・西地区(峰延町・光珠内・豊葦)40.0%が「利用したいと思っている」(12人/30人)
- ・東地区(落合・共練)25.0%が「利用したいと思っている」(3人/12人)

#### 【課題4 東明町の市民バスから乗合タクシーへの転換】

- ・2人/7人が乗合タクシーを利用したいと思っている
- ・東明町の市民バスの利用状況を別途把握する必要あり

#### 【課題5 高齢者について自家用車から公共交通への転換を誘導】

- ・小中学生におけるモビリティマネジメントも併せて検討(公共交通の乗り方教室など)
- ・年齢が高くなるにつれて、事故を回避する運転テクニックに自信のある比率が増加  
(参考)人口10万人当たり年齢別の死亡交通事故率
- ・年長高齢者において、死亡交通事故の比率が増加
- ・できる限り運転したいや、80歳代においてもさらに高年齢まで運転したいとの回答が半数以上見られる

#### 【課題6 自動車運転免許証の返納支援制度の検討】

- ・特典があれば返納しやすくなるが多い(「少し」を含む7割強)

#### 【課題7 その他】

- ・ゆ〜りん館において「8時」との回答あり
- ・花田病院において「9時」との回答あり
- ・市街地を運行するバス等について増便を要望する意見が10件あり

#### 【モビリティマネジメント】

公共交通を活性化、再生させるためには、路線の見直し、運行ダイヤや運賃の改善など、交通事業者の取組だけでは限界があり、地域の住民、学校、企業などの利用者が、利用促進の取組を支援していく必要があります。

モビリティマネジメントとは、一人一人のモビリティ(移動しやすさ)が社会的にも個人的にも望ましい方向(過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等)に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策です。